

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年8月24日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2023 年 8月 23日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ボストン大学(日本語名) Boston University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2023年5月~2023年8月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4月上旬~7月下旬、 2 学期/9月中旬~2月上旬	1 学期:9月上旬~12月下旬 2 学期:1月中旬 ~5月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	36000
創立年	1839/4/24

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	3300	477594 円	3 クラス。lab fee 込み
宿舍費	5278	763861 円	
食費	2210	319843 円	Dinning plan
図書費	0	0 円	高いので買わずに無理やり乗り切った
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	0	0 円	楽天の無料サービスと大学 wi-fi 使用
現地交通費	10	1447 円	(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1658	240000 円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	957	138502 円	形態:BU の保険(762 ドル)+明治の保険(28,265 円)
渡航旅費	587	85000 円	ニューヨーク 5 日滞在(家賃抜き)
ビザ申請費	535	77428 円	VISA(\$185)SEVIS I-901(\$350)
雑費	200	28945 円	必要家具等
その他		円	
その他		円	
合計	14735	2132530 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:東京(羽田) 目的地:ボストン 経由地:ハワイ	
復路 出発地:ボストン 目的地:東京(成田) 経由地:ニューヨーク	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ハワイアン航空 料金:160160 復路 航空会社:ANA 料金:128410 円 ∴ 合計:288570	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:スカイキャナー)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:myles standish hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
BUの公式ホームページ	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
共有スペースが多い。その分友達ができやすいが、同時に我慢することも多い。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
基本ボストンは治安がいいのであまり気にしなかった。が、基本的に心の中で人を信用しないマインドでいた。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
大学のWi-Fiが優秀なのと、楽天のサービスで無料で海外でも通信ができた(月2ギガ程度)ので、eSIMを買わずに留学を終えることができた。(私のようにeSIM買わない場合ある程度の不便は覚悟すべき。基本買うことをお勧めする。)	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
基本クレジットカードで乗り切った。が、露店や友達との貸し借りの関係で現金が必要な場合が発生したので、近くのショッピングモールの外貨交換所にて適宜両替をした。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。	
特にないと思う。基本高いが必要なものは現地で揃えられる。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った。現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	
Summer1の分はクレジットカードでBUの自己アカウントを用い、払った。Summer2の分はSummer1が終わるころ現地で同じようにクレジットカードで支払った。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Climate and Earth System Science	気候と地球のシステム科学入門
科目設置学部・研究科	Sciences
履修期間	Jul 5 - Aug 15
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&実験 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 6 回
担当教授	Buchwaldt
授業内容	地球がどのようなシステムに基づいて存在しているのかを、網羅的かつ実験をもとに理解する
試験・課題など	中間、期末の 2 回テストあり。週に 2 つアサインメントと小テストあり。
感想を自由記入	教授がとにかくいい人。講義に創意工夫が溢れており、きつい講義日程と課題でも楽しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Information Structures with Python	情報構造(パイソン)
科目設置学部・研究科	Information Technology
履修期間	May 23 - Aug 15
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Lu
授業内容	パイソンの基礎から中級までを 12 週間かけて学ぶ
試験・課題など	アサインメントと小テストが 2 週間に 1 回、最終プロジェクトと期末試験がある。
感想を自由記入	社会人が多く、午後 6 時から 9 時という遅い時間で講義形式なので、結構疲れた。なんとか乗り切ったという印象。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Modern Japanese Culture in Cinema (in English translation)		映像作品から考察する現代日本の文化
科目設置学部・研究科	Arts and Sciences	
履修期間	May 23 - Jun 29	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が2回	
担当教授	Sarah Frederick	
授業内容	サイレント時代から現代のアニメーションまでの日本映画を、映画の文化的分析の交差点やクセ映画などのジャンルに注目しながら研究する。小津監督、黒澤監督、溝口監督、宮崎駿監督などの作品を扱う	
試験・課題など	毎週リレー課題が出され、その前提知識をもとに作品について議論する。期末試験があった。	
感想を自由記入	日本の文化を日本の外から学ぶ体験ができて、興味深かった。 日本はどのように理解されているのかという客観的視点が映画を通してよく理解できる。 日本のことが好きな人が集まるので、友達はできやすいと思う。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
外資就活等
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
SAP Japan 理由:羽振りがいい。労働環境がいい。仕事仲間がいい。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
就活の鉄則は、「早い方が得」「リスクヘッジ」です。早め早めに行動し、落ちる前提でできる限りリスクを分散すると基本うまく行くと思います(運要素も多少ありますが)。 留学は時期によりますが、就活にとって「ハイリスク・ハイリターン」です。長期間の拘束、日本在住学生との情報格差というハイリスクを受容、対処すれば、明確なガクチカというハイリターンが得られる、ということです。 結論、留学を見越して早めにリスクヘッジさえすれば、なんとでもなると思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	留学申請、書類審査
留学開始年	1月～3月	ビザ申請、取得、航空券、予防接種、
	4月～7月	留学開始
	8月～9月	帰国、帰国後手続き
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

1. 留学を決定した理由
2. 留学中の生活のアドバイス

1.

留学に行くことを決めた理由は 2 つある。

1 つ目は、就職予定先で英会話が必須のスキルだったからだ。

私の就職先は、とある外資系 IT 企業である。実際にオフィスに行く機会があったのだが、オフィスで英会話が飛び交っていたことに危機感を受け、その日に今の自分の持つ条件で行ける留学先を調べ、早急に応募した。

2 つ目は、後悔の消化だ。

自分はもともと留学に対して興味があまりなかった。が、入った学部が国際日本学部で周りの友達が積極的に留学に行くので、次第と留学に興味を持った。しかし、実行に移すほどのモチベーションは湧かず、就活の時期に差し掛かってしまった。当時、留学に行かなかった自分に対して、後悔の念を抱いていた。就活が終わったタイミングで、重い腰を起し、後悔を消化したかった。

2.

留学中の生活は、一言で言うと「サバイバル」だ。

留学初日、友達は 1 人もおらず、言語も異なり、大量の荷物を抱え、異国に 1 人。何をしても自分の責任であり、受動的に助けてくれる人はいない。まさにサバイバルな環境の中で生き抜くためには、今自分に必要なことを整理し、能動的に獲得しに行くことが必須になる。無人島で能動的に火を起し食料を探すように、留学先では能動的に自分のやる気を起し、情報を集める必要がある。友達も、授業の情報も、臨時の情報も、全てサバイバル精神があつてこそ得られるものだと思う。

ただ、これだけ脅すようにサバイバルとうるさく記述したが、正直現地に行って仕舞えば危機感から勝手に体が動くと思うので、「留学はサバイバルだ!」と頭の片隅に置いとくぐらいでいいと思う。